



M&Aと事業分離

Zero Trust Cloudプラットフォームで
シナジー効果と価値実現を加速化



コンテンツ

変革のキャタリスト:吸収合併と事業分離	3
期待どおりの結果が得られない理由	4
Zero Trust Cloudプラットフォームを活用した先進的なアプローチ	5
メリットの実現	6
M&Aによる事業統合	6
分割/分離	7
Zero Trust Cloudプラットフォームの実績	8
Time to Value (価値実現時間)	8
サイバーリスクとコンプライアンス	9
価値取得と簡素化	10
ビジネス効果	11

M&A/事業分離は変革を促進するカタリスト

変革のカタリスト：吸収合併と事業分離

新しい事業戦略

ビジネス成長やコアバリューへの再注力を促す業界の新しいトレンドを掴み、利益、敏捷性、生産性の向上を実現します。

カスタマーエクスペリエンスの改善

データ分析と洞察から得られる知見を活用し、顧客の獲得、維持、ロイヤリティ、そして現金化を向上させます。

製品イノベーションの迅速化

新製品の導入により、より迅速に顧客との関係性を緊密化します。

より大きなエコシステム/マーケットプレイスの一部として相互作用するSaaSベースのプラットフォーム向けに、提供する製品を最新のものにします。

企業文化と変化

デジタルな環境を速やかに取り入れることで、必要な人材と需要の高いスキルを増やし、競争力を高めます。

連続買収は、競合他社よりも25%早く価値を生み出します。

62,000

2021年のM&A案件数は前年比で24%増¹

5.1兆ドル

2021年の公表案件額合計¹

1.出典:PwC 世界M&A業界の業界動向:2022年展望)

100倍

M&A/事業分離中のサイバー
攻撃の増加²

73%

ディールエクスペリエンス
統合過程における有意な
問題点³

M&A/事業分離は 期待どおりの結果が 得られないことが多い

取引かつてないほど複雑化し、それにより見込まれる取引の価値評価とメリットが侵食されています。

M&A/事業分離の成功率は限られた数字になっています。その原因として、多くの場合技術的な側面が影響しています：

- ❖ **Time-to-value (価値実現時間)** - デューデリジェンス、統合計画、初日に直面する管理上の課題を18ヶ月以内に完了できる能力。
- ❖ **サイバーリスク&コンプライアンス** - 買収側は、すべての脅威/脆弱性、修復ステップ/コストを想定。
- ❖ **価値取得** - 目標とするシナジーがもたらす節約はディール規模の最大50%にも達するものの、達成できないことが多い。
- ❖ **優先事項/人材** - 優秀な人材はデジタル変革の優先事項への関与が求められることはあまりなく、ビジネスアジェンダ(クラウド、分析、運営)にマイナスの影響を与える。
- ❖ **経験と規律** - 伝統的なM&A統合の実践と技術的な複雑さ(システム、データ)。

2.(出典: McKinsey Insights)

3.(出典: Bain & Company)

M&A/事業分離への アプローチが劇的に改善

Zscaler Zero Trust Exchange (ZTE)は、スケーラブルで反復可能な方法でトランザクションを高速化します。

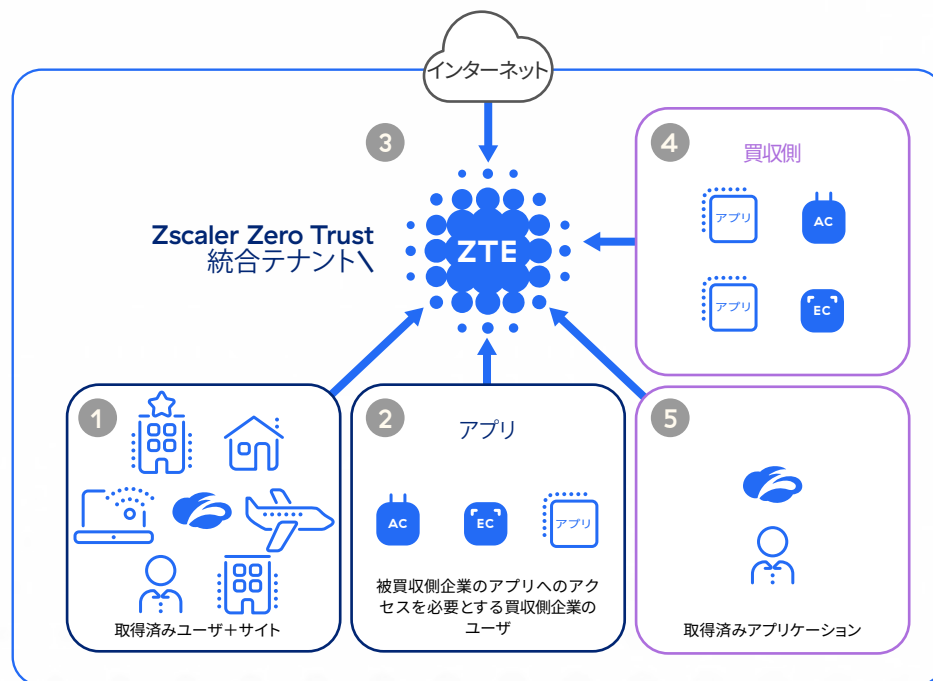
- … Time-to-Value (価値実現時間)の加速化 - ZTCPのSaaSモデルを活用すると、従業員が主要なサービス/アプリケーションに素早くアクセスでき、トランザクションが50%高速化します。
- … サイバーリスクとコンプライアンス - 企業組織に侵入する前に迅速に特定、分析、軽減することで、サイバー脅威を85%削減できます。
- … 価値取得 - 消費者ベースのSaaSモデルにより、初日から有意な節約を実現し、技術の合理化と40%の技術負債削減につなげます。
- … 優先事項 / 人材 - SaaSネイティブのフルスタックエンジニアによって簡素化されたオペレーティングモデルにより、デジタル分野の人材は引き続きビジネス上の優先事項に集中できます。
- … 経験と規律 - 繰り返し可能なアプローチで、ZTCPを使用した統合や分離をより速いペースで完了できるようになります。

Zero Trust Exchangeが、安全にユーザーをアプリケーションに接続します



ゼロトラストエクステンジ - M&A統合

5つのステップでユーザからアプリケーションへのアクセスを保護



- 1 ZTEへのユーザの接続
- 2 ZTEへのアプリケーションの接続
- 3 IDアクセスおよび管理システムの接続
- 4 指定したアプリケーションに対する被買収側のアクセスの許可 - ポリシーの改善
- 5 被買収側のアプリケーションへの買収側ユーザの接続

統合のメリット

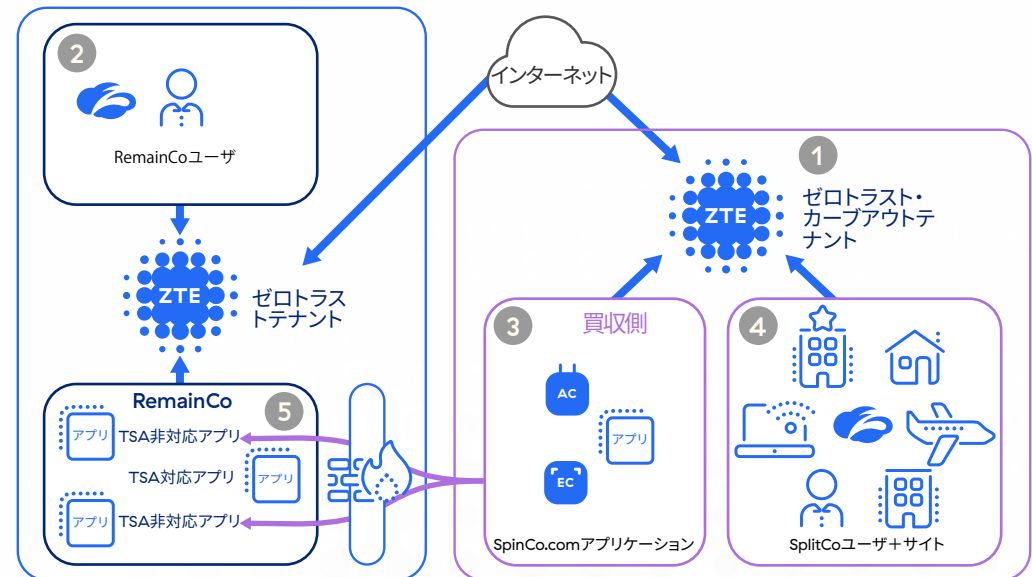
- 全ユーザ、サイト、アプリケーションは ZTCPで保護
- 初日までに、安全かつ監査可能な方法で、買収側のアクセスを迅速に提供
- 内部/インターネットアプリケーションの適切なセキュリティ管理を確立するために買収側をプロファイル
- 他のIMOのタイムラインを加速(アプリケーション、サプライチェーン、ERP)
- 共生型統合も必要かどうかを判断
- 新しいインフラ、通信、複雑なインフラ統合による不必要な遅延を排除
- 重複する技術を排除し、消費型サービスを推進

統合のメリット

- 全ユーザ、サイト、アプリケーションは ZTCPで保護
- 初日までに、安全かつ監査可能な方法で、買収側のアクセスを迅速に提供
- 内部/インターネットアプリケーションの適切なセキュリティ管理を確立するために買収側をプロファイル
- 他のIMOのタイムラインを加速 (アプリケーション、サプライチェーン、ERP)
- 共生型統合も必要かどうかを判断
- 新しいインフラ、通信、複雑なインフラ統合による不必要な遅延を排除
- 技術の重複を回避し、消費型サービスを推進

Zero Trust Exchange - 分離/分割

5つのステップでユーザとアプリケーションの分離における安全を確保



- 1 Splitco ZTEのテナント、IDP、ドメインを設定
- 2 ユーザ、アプリケーション、ポリシーを定義するためのプロファイル環境
- 3 SplitcoのユーザをSplitco ZTEにリダイレクト
- 4 Splitco ZTEにSplitcoアプリケーションを割り当て
- 5 TSAアプリケーションの管理体制を確立

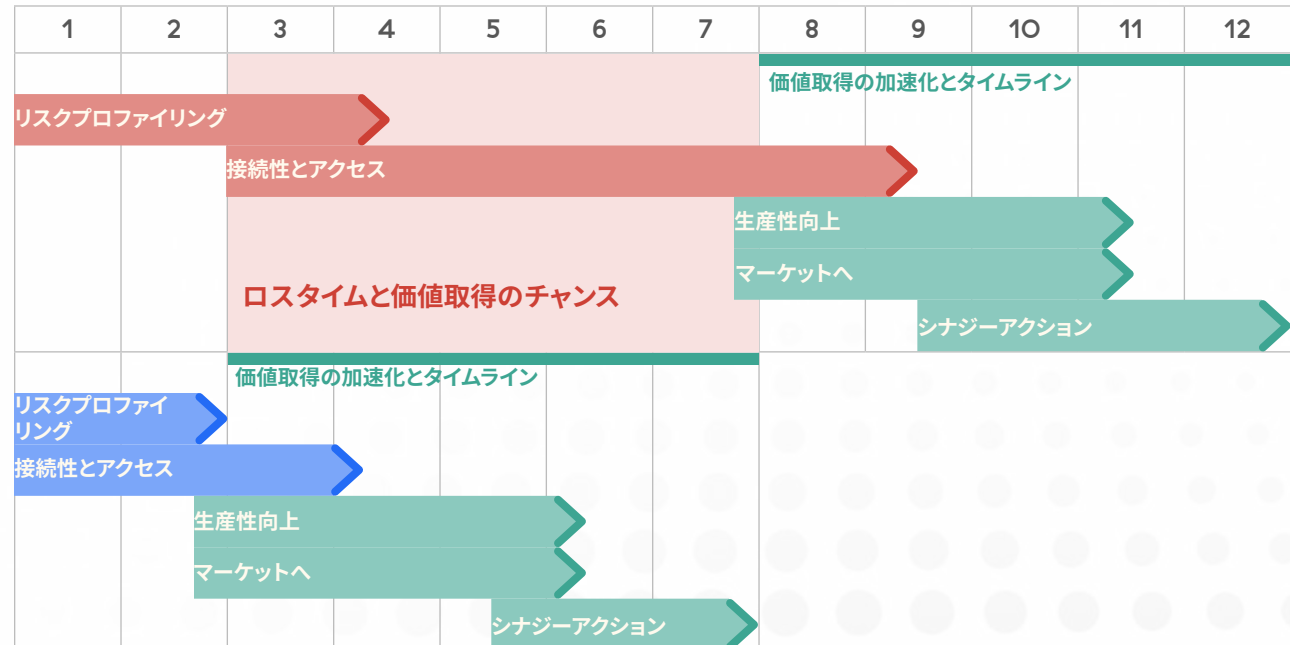
M&A/統合における Zero Trust Exchangeのメリット： Time-to-Value (価値実現時間)

導入時間の短縮、リスクの最小化、運用の簡素化、
シナジーによる費用削減効果の向上を実現

買収側と被買収側企業を
安全に結びつけ、他のIMO
ワークストリームが迅速に
統合活動を開始できるよう
にすれば、最初の100日間の
早い段階で競争優位を
獲得することができます。

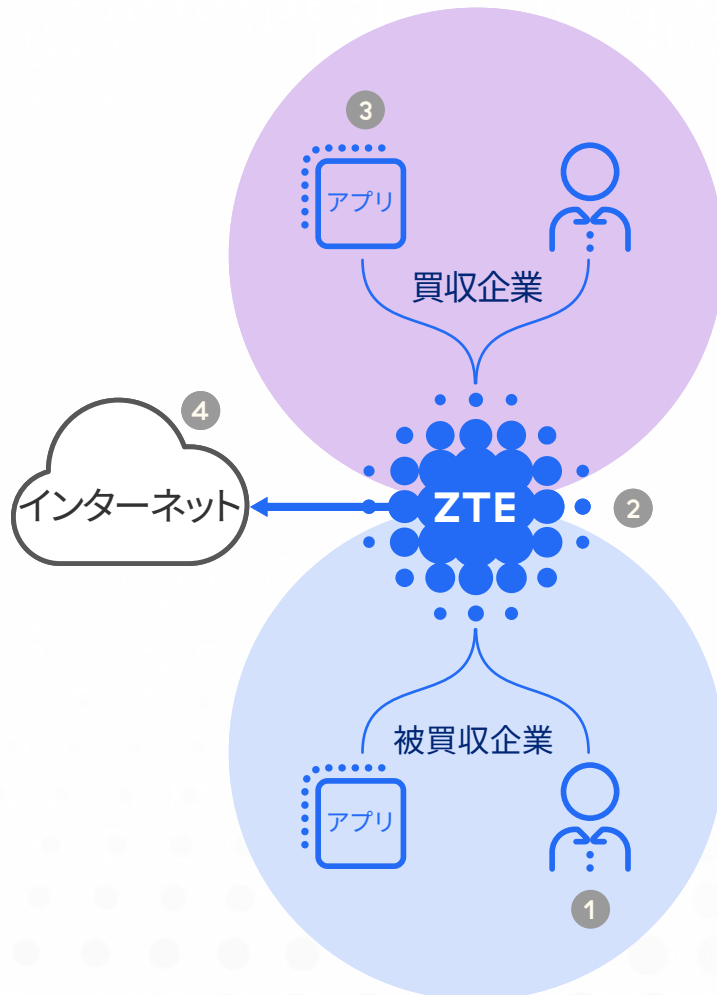
従来のアプローチでは、リスクマネジメントと効率的なユーザアクセス面のわずかな成果を得るために多大な先行計画、投資、労力を必要としています。

近代的アプローチでは、時間と労力の効率を飛躍的に向上させるとともに、リスク態勢を改善し、統合時のユーザエクスペリエンスを容易にします。



M&A/統合における Zero Trust Exchangeのメリット： サイバーリスクとコンプライアンス

ZTEが持つ固有のセキュリティ機能を適用し、整合性を評定し保護



1 トランザクションの整合性と制御

- 未知のサイバー脅威に対する検知と防御
- オンプレミス／オフプレミスを問わない共通のエクスペリエンス／プロフィール
- アプリケーションは許可された者に対してのみ可視化

2 脅威がユーザに届く前にブロック

- 攻撃対象領域を排除
- インラインコンテンツ検査(暗号化)
- パブリッククラウド環境の保護

3 不正アクセス拡大の検知、対策

- ユーザからアプリケーションへのセグメンテーション
- アプリケーション間セグメンテーション
- 検知、対策のための偽装

4 データ／知的財産の損失防止

- インラインコンテンツ検査
- 革新的なデータ分類エンジン
- インターネットアクセス時のデータ保全 (CASB)

M&A/統合におけるZero Trust Exchangeのメリット： 価値取得と簡素化

トランスフォーメーションと統合／分離と各種アクティビティの相互補完

トランスフォーメーション戦略

- … クラウドサービスプロバイダー
- ワークロードの移行
- … SaaS(ソフトウェア・アズ・ア
- サービス)導入の最大化
- … 場所を問わず働けるようになる
(社員、非社員)
- … サイバーレジリエンス(ゼロト
- ラスト)と常時コンプライアンス
(DevSecOps)を実現
- … エンタープライズ・アジャイル・
- オペレーティング・モデルを採
- 用し、ビジネスとITを統合
- … 最適化されたユーザエクスペリ
- エンスを提供

統合、分離の実行

- … TSAは買収側にとって事業の継続性を確保する一方で、シナジー実現を遅らせるだけでなく最大10%の価格マークアップがあります。これは時間と共に上昇する価格プレミアムが買収側の柔軟性を制限し、被買収側への依存度を高める、運営コストの上昇につながります。
- … **X-as-a-serviceの採用** X-as-a-serviceソリューションは、TSAの期間を数年から数四半期に短縮する場合に大きな改善効果を発揮します。既存のシステムを切り出したり統合したりするのではなく、まったく新しいクラウドベースのシステムを導入しますが、そのことで自動化とプロセスの標準化の両方を加速させるというビジネス面の利点をもたらします。
- … **ブリッジサービスを取り入れたギャップの解消** 企業はもはや取引の遂行に自社のIT能力に頼る必要はなく、デジタルに精通した第三者が買収過程を通じて必要なすべてのサポートを提供します。
- … **シナジーの節約** 非経常的な立ち上げコスト(インフラ、通信)の最小化、資産をクラウドに移行する際の暫定設備の排除、サイバー脅威の早期発見と対処、IMOのワークストリームが初期接続に依存し、進捗を阻害する非生産的なリソース割り当ての増加を排除します。
- … **運営上の効率** プラットフォームの導入によるベンダーの統合と技術/アプリケーションの合理化による経常的なコスト削減、そしてクラウド/XaaS/ZTEへの移行に合わせた人材/スキルの再編、M&A/事業分離におけるトランザクションに集中することにより実行速度を向上します。

M&Aと事業分離

Zero Trust Exchangeによるシナジー効果と価値実現の加速化

50%

Time-to-Value
(価値実現時間)の短縮

デューデリジェンス、統合計画、
初日の管理変更を12カ月以内
に完了する能力を提供

85%

攻撃ベクトルや脅威の低減

統合／分離期間中、既知およ
び未知のサイバー脅威を軽減

40%

一回限りのコストと定期発生
するコストの削減

TSAの最小化により、取引の早
い段階で価値を獲得し、その後
のシナジー効果を実現

75%

運用の複雑さを軽減

合理的で最適化されたオペレー
ションモデルで、統合をデザイン、
展開、維持するシンプルな方法を体験



Experience your world, secured.™

Zscalerについて

Zscaler (NASDAQ: ZS) は、より効率的で、俊敏性や回復性に優れたセキュアなデジタルトランスフォーメーションを加速しています。Zscaler Zero Trust Exchangeは、ユーザ、デバイス、アプリケーションをどこからでも安全に接続させることで、何千人ものお客様をサイバー攻撃や情報漏洩から保護しています。世界中で運用する150のデータセンターで動作するSASEベースのZero Trust Exchangeは、世界最大のインライン型クラウドセキュリティプラットフォームです。

©2022 Zscaler, Inc. 不許複製Zscaler™, Zscaler Internet Access™, ZIA™, Zscaler Private Access™, およびZPA™は、Zscaler, Inc.の米国またはその他の国、あるいはその両方における (i) 登録商標またはサービスマーク、または (ii) 商標またはサービスマークです。その他の商標は、所有者である各社に帰属します。